

共同募金会より

中央競馬馬主社会福祉財団助成金 平成20年度1680万円決定

平成20年度中央競馬馬主社会福祉財団助成金決定通知伝達交付式が、平成20年10月27日(月)に那覇市首里にある沖縄県総合福祉センターで行われました。

本県の今年度の助成金は、5団体に総額1680万円が決定し、県共募新垣雄久会長より各団体の代表者へ決定通知書が手渡されました。また、5団体の代表として友和福祉会(ハッピーネス保育園)吉本園長よりお礼のあいさつを述べました。

中央競馬馬主社会福祉財団の助成金は、中央競馬の馬主達が自分達の



▲平成19年度伝達式の様子

平成20年度中央競馬馬主社会福祉財団助成金決定一覧表

法人名(施設名)	事業名	助成金額
(福)翠泉会 (老人短期 羽地苑)	崖崩れ防止工事	5,000千円
(福)伊集の木会 (知的障害者授産 那覇学園)	エアコン取替事業	2,700千円
(福)友和福祉会 (保育園 ハッピーネス保育園)	保育園増築工事	5,000千円
(福)たまん福祉会 (知的障害者授産 たまん)	屋上補修工事	1,100千円
(福)おきな福祉会 (知的障害者更生 石水の里)	移送用マイクロバス整備事業	3,000千円
合 計		16,800千円

手で目に見える形で社会福祉の発展に貢献し、併せて競馬に対する社会の認識を高めることを目的として、競馬の賞金の一部を自主的に拠出することにより、昭和44年10月に財団法人として設立され、全国の民間社会福祉施設等に助成金を交付しています。

シリーズ 活動最前線

「命どう宝・ 命のゆいまーる プロジェクト」

命を救うための講習会

今回は、沖縄本島を活動拠点として、県内離島で救急法の講習を無償で行っている「命どう宝・命のゆいまーるプロジェクト」(以下「命どう宝」)の勉強会へお邪魔した。

「命どう宝」は、県内の常設消防署が無い離島地域において、救急法(心配蘇生法やAEDの使用方法等)の講習会を行っているボランティア団体である。沢山の有人離島を抱えている沖縄県だが、小さい島の多くは「常設の消防署がない」、「診療所があっても、医師1人看護師1人で対応している」など、なかなか救急法の講習会が行われる事は少ないのが現状だという。しかし、「そういう離島でこそ、緊急時に地域の住民が対応できることが必要でないか」とお酒の席で議論が白熱し、立ち上がったボランティア活動が「命どう宝」である。

お酒の席で考案された企画だが、「活動は真面目です」と高良剛口ベルト医師(沖縄県立中部病院)が話すとおり、平成20年11月末までに、医師や看護師、消防隊員など、約70人の医療関係者が、講習会に参加し

た。今まで阿嘉島、座間味島、黒島や波照間島など14の離島で22回の講習会を行った。平成15年の活動当初は、講習会の受け入れ先が無く、しばらく活動をしたと思っていたが、徐々に出来ない状態だったというが、徐々に活動が認知されてきて活動の場も広がってきた。

現在、団体では月1回定期的に勉強会を行い、医学知識があまり無い住民にも、救急法を正確にそして解りやすく説明するため、活発な情報交換がなされている。勉強会に参加していた看護師の上野智子さんと後藤絵梨さんは「講習会に参加した事で、離島医療の現状を知った。」「住民へ指導・説明する立場になり、緊急医療の勉強をもう一度やり直した。」「離島医療を今後の選択肢の一つとして考え始めた」と話された。



▲実際の講習会の様子

愛ちゃんと希望くん



©中央共同募金会

ありがとうメッセージ

- 団体名/日本てんかん協会
沖縄県支部(うるま市)
- 事業名/第34回全国大会派遣事業
- 配分額/80,000円

第34回全国大会が「てんかんと向き合う日々」に活力を！テーマとして、愛知県で開催され沖縄県支部から2名参加しました。

11/24から、開会式・医療講演会・交流会で1日が終了しました。2日目の11/25は、各分科会が行われ、その中で討論会や日本てんかん学会医師の講和等、最新情報や今後の展開等が聞けてすばらしい大会でした。今後、各支部での勉強会を実施したいと思いました。

会として、共同募金配分金が利用できた事は、大変ありがたいと思います。



- 団体名/のびる福祉作業所(名護市)
- 事業名/配用バイク整備事業
- 配分額/190,000円

沖縄県共同募金会より、配分金を受けて私達のびる福祉作業所は、作業の基盤整備を行うことが出来、所員及び職員・保護者は感謝の念に堪えません。

少しでも、所員の給料のアップにつながりますよう、全員で力を合わせて仕事に励み、県民の善意の有難さを認識して、購入した備品を大切に、最大限の効果が出来ますように頑張りたいと思います。感謝の気持ちを忘れずにつぎ進んでいきます。全員より有難うの気持ちです。



安心を支えます ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を補償



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)

保険料(掛金) Aプラン 260円 Bプラン 420円 Cプラン 590円
※天災危険補償タイプもあります。

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティアに関する行事におけるケガや賠償事故を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故等によるケガを補償!

お申込み、ご照会、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区麹町3丁目3番2号 新麹が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

http://www.fukushihoken.co.jp

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社